



学校だより

令和8年3月23日

東京都立石神井特別支援学校

校長 中島 由美子

桜が咲き、春の訪れを感じる季節となりました。第43回卒業式に向けて卒業学年の児童・生徒たちは練習に取り組んできました。真剣な表情で臨んだ予行は、「児童・生徒が主役」の最高の出来栄でした。明日の卒業式で小学部27名、中学部23名の晴れの門出を心から祝福したいと思います。



農園芸班が育てた菜の花

春は出会いと別れの季節、この1年を振り返ると楽しかった思い出とともに予定通りとはいかず辛抱強くトンネルを抜けるのを待つような時間もあったことと思います。いろいろなことが走馬灯のように浮かんできます。

1年を俯瞰してみると、児童・生徒の皆さんは友達と共に学校生活を楽しみながら一人一人が地道に学びを継続して一歩前進、さらに豊かに成長しました。私たちの期待に大きく応えてくれた子供たち、その中で私たちも大きな喜びを感じることができました。

「明日の自分は今日の自分がつくる」、これからも目標を掲げ、一日一日を大切にして夢や希望の実現に向けて着実な歩みを続けていってほしいです。今年も一期一会の出会いに感謝し、卒業式・修了式で締めくくります。お別れはとてもさみしいのですが、本校を巣立つ皆様にはよい思い出を胸に新たな一歩を踏み出していられることを願います。

中学部の「卒業を祝う会」では、1、2年生が歌やメッセージで温かく3年生をお祝いしました。「先輩たちが最後までやり切る姿を見ました。経験の一つ一つが積み重なっていて素晴らしいです。」「素敵な高校生になってください。」「私たちのことを忘れないでください。」など、生徒同士が別れを惜しみつつ温かい気持ちの通い合う機会となりました。中学部3年生の皆さんは、それぞれの学区の高等部へ進学します。これまで頑張ってきた自分の力を信じて、自信と勇気をもって前へ前へと進んでいってください。これからもたくさんの方々が応援しています。



中学部卒業に向けての共同制作

1年間、たくさんのご協力をいただき、どうもありがとうございました。

次に、この3月で本校を去る職員を紹介いたします。(HPでは省略いたします)

一年の締めくくりとなる今日、子どもたちがこの一年で積み重ねてきた成長を思うと、胸が温かくなります。笑顔や頑張り、友だちとのやりとり、どれもが大切な宝物です。日々の学校生活を支えてくださった保護者の皆様、そして地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

振り返ると、小さな一歩が大きな力につながっていく場面をたくさん目にしました。できることが増える喜びを子どもたちと分かち合いながら、私たちも一緒に歩んできた一年でした。

来年度も、一人一人が自分らしく過ごし、安心して学べる学校づくりに努めてまいります。どうぞ変わらぬ御支援をお願いいたします。春の訪れとともに、皆様に穏やかな日々が続きますようお祈り申し上げます。

副校長 佐藤 匡郁

桜のつぼみが膨らみ始めるこの時期は華々しくもありさみしくもあります。保護者の皆様には、この一年間本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

教務主任として遠足や防災訓練、校外歩行、給食など色々な学年で活動を共にしてきました。一学期当初の表情とは変わり、どのお子さんも今では自信に満ちた顔で活動に取り組んでいる姿を見て、一年間で着実に力を付けていることをうれしく思います。来年度もその力をさらにステップアップできるよう教員一同努めていきます

教務主任 塚原 教子

元気いっぱい的小学部の皆さんは、「にしむらせんせい」と名前を覚えて玄関や廊下で会うと気持ちよく挨拶をしてくれました。1年生の児童が校内を歩いていると、「1年生先にどうぞ」と道を譲ってくれるなど、石神井特別支援学校の児童・生徒の皆さんが小学部1年生を温かく迎え入れてくれる様子がありました。優しい気持ちをもった子供たちの多い学校だと感心しながら、温かい気持ちで1年間駆け抜けました。保護者の皆様にも様々なご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

小学部主幹 西村 由里子

石神井での生活を一緒に踏み出した小1の子どもたちと、7年経って、中学部での初めの一歩をまた一緒にスタートできた感慨深い一年でした。その中で改めて実感したのは「はじめの一歩」はいつでも何度でも踏み出せるということ。小さいときにはうまくできなかったことが、いろいろな経験を積み重ねてできるようになった姿もたくさん見てきました。ほんの少しでも踏み出せたことはいつか必ず花開いて自分の力となっていきます。この先も恐れずためらわず、周りの力も借りて一緒に踏み出していきましょう。

中学部主幹 竹内 真紀

この一年を振り返ると、「できることが増えた!」「やってみたい!」という気持ちを胸に、自信をもって取り組む姿が数多く見られました。小さな一歩の積み重ねが、大きな成長につながり、その瞬間に携わることができたことをとても嬉しく思っています。

こうした子供たちの前向きな姿を支えてくださった保護者の皆さまの日々の励ましと、ご協力に心より感謝申し上げます。

小学部高学年主任 福永 紗代

この一年、生徒たちは日々の学習や行事など様々な活動に取り組む中で、少しずつできることを増やしてきました。難しいことにも友達や先生と協力しながら挑戦し、できたときの喜びや自信につながる姿が見られました。中学部では、「自分の気持ちを相手に伝えること」「困ったときに助けを求めること」「落ち着いて行動すること」を大切にしてきました。これからも、一人一人が自信をもって次の一歩を進んでいってほしいと願っています。

中学部主任 富山 博祐